

目指そう無火災

倉掛新聞

〈発行所〉
倉掛自治連合会
井原市井原町倉掛一
会長／渡辺研一

〈編集〉
倉掛自治連合会
倉掛少年団育成部
倉掛消防分団第3



消防出初式

井原市消防出初式が一月二十二日に挙行され、梶井克也部長率いる井原分団第3部も寒風を突いてパレードや一斉放水などの各行事に参加した。

第3部長に梶井克也さん

恒例の第3部出初式は午前六時から夏目の機庫前で行われ、整列した団員を前に

に梶井克也部長が「二十人の力を結集して無火災を目指したい」と、地域防災への意気込みを述べた。

続いて倉掛夏目両自治連合会役員が「今年は四人の新入団員を迎え心強い。団員各位の熱意で安全なまちづくりを励んで頂きたい」と祝辞を述べた。

午前七時から井原小学校体育館で行われた井原分団出初式では松井憲司分団長が「地域に愛される消防団であって欲しい」と訓辞。各部ごとに整列した団員を

第3部団員名簿

- 部長 計長 池田 豊平
- 副部長 副計長 尾井 内中
- 副部長 副計長 三宅 原岡
- 副部長 副計長 山岡 藤邊
- 副部長 副計長 渡松 本岡
- 副部長 副計長 相川 川
- 副部長 副計長 池田 豊平
- 副部長 副計長 尾井 内中
- 副部長 副計長 三宅 原岡
- 副部長 副計長 山岡 藤邊
- 副部長 副計長 渡松 本岡
- 副部長 副計長 相川 川

来賓らと共に観閲した。その後、市団の出初式に臨んだ団員らは、町内パレ

美技披露に歓声

総合格闘家 藤井恵さん木中で講話



講話を終えてホッとひと息の恵さん(中央)

生徒ら「すごい」

は国士館大学卒業後、格闘技サングボに取り組み世界選手権で四度銀メダルを獲得。その後、ACCに所属し総合格闘技に参戦。二月十七日の修斗公式戦(代々木第二体育館)では、瀧本美咲選手を相手に多彩な技を繰り出し快勝するなど実力は世界のトップレベル。

その一方、原宿など三ヶ所の道場に門下生約百五十人を抱え、指導者としての手腕も発揮。年数回、大会を開いている。美星天文台の綾仁一哉台長と井原放送の花川欣靖アナウンサーの講話に続いて登場した恵さんは1〜2年の生徒ら二百人を前に「興味があることは素直にやってみることで。待つだけで駄目。それを積み重ねるうちに目標が見つかるでしょう」と語り、最後は同校の柔道部員を相手に得意技を披露して喝采を浴びた。

安全下校に貢献

こども守り隊 井小は51人登録

小学生の安全な通学を守る学校安全ボランティアが活動を開始した。

このところ子供を狙った凶悪な事件が増加していることから学校とPTAは昨年十二月、巡回や見守り活動に取り組んでもらえる住民を募集。井原小学校関係

- 1 組 川相 肇
- 2 組 大坪 正広
- 7 組 坂本 晃子
- 8 組 山岡由紀恵
- 15-1 組 渡辺 悦巳

緊縮財政に対応

自治会決算見直し

倉掛自治連合会の川相益一會計が先般、三月十一日の決算総会を前に現在の自治会財政状況を明らかにした。

それによると倉掛公民館開設に伴う賃借料及び共益費二十五万二千円の出費を見込んだ本年度予算は、2

60世帯と各事業所の会費を千円値上げして収支バランスを保った。

総会に必要な机や椅子を購入するために初めて備品費を七万円計上したが、中古品を利用したことからも四万円程度の支出で済み、総支出額も当初予算を下回る

見直しという。また川相會計は「毎月四千円程度必要な公民館の電気料は、自治運営費で処理しています」と説明を加えている。

倉掛自治連合会の渡辺会長は「本年度は特に倉掛地区社会福祉協議会へ多くのご寄付を頂き感謝しています。次年度も恐らく無理のない予算組みで財政は安定するでしょう。引き続きご理解とご協力を賜りたい」と話している。

団員の腕前向上

郷社でグラウンドゴルフ

倉掛少年団 三世代交流行事

三世代交流グラウンドゴルフが郷社境内で二月五日、倉掛少年団関係者やサロンあすは、婦人会、自治連合会の役員ら約四十人を集めて行われた。

「楽しかったね」



〈部門別上位成績〉

| | | | |
|---------|---------------|---|---|
| 《少年団の部》 | | | |
| ① | 浅井 智成 (4年) | 4 | 3 |
| ② | 佐藤 翔平 (6年) | 4 | 2 |
| ③ | 佐藤 航平 (6年) | 4 | 5 |
| ④ | 小川 晃平 (4年) | 5 | 4 |
| ④ | 小谷 咲乃 (6年) | 5 | 4 |
| ⑥ | 岡藤 航平 (6年) | 5 | 5 |
| ⑥ | 岡藤 理奈 (4年) | 5 | 5 |
| ⑥ | 小川 真奈 (6年) | 5 | 5 |
| 《育成会の部》 | | | |
| ① | 岡藤 良二 (13-3組) | 4 | 3 |
| ② | 山岡 秀男 (15-1組) | 4 | 4 |
| ③ | 佐藤 謙治 (12-2組) | 4 | 5 |
| ④ | 小川 泰之 (1組) | 4 | 6 |
| ⑤ | 小川 薫 (16組) | 4 | 8 |
| ⑥ | 吉川 理津子 (17組) | 4 | 5 |
| 《一般の部》 | | | |
| ① | 岡本 哲二 (3組) | 4 | 3 |
| ② | 渡辺 悦巳 (15-1組) | 5 | 0 |
| ③ | 藤井 純子 (18-2組) | 5 | 4 |
| ④ | 妹尾 一成 (8組) | 5 | 5 |
| ⑤ | 森 梅子 (18-2組) | 6 | 1 |
| ⑥ | 川相 肇 (1組) | 7 | 2 |

開会式で育成会の小川泰之会長とサロンあすはの川相肇代表が「地元の方々と一緒に楽しいひと時を過ごしましょう」と挨拶を行い競技に移った。世代が入り交じった各組

第3部1班優勝

きびきび動作で高得点

消防操法大会

井原分団消防操法訓練大会が二月五日、井原小学校グラウンドで開かれ、六チームが参加した小型動力ポンプの部で地元第3部の一班が優勝、同二班も準優勝と、この上ない成績を挙げた。

この日は出初めから僅か二週間しか経過していません。一月に同大会を開いていることもあって、高いレベルを維持している選手が多く激戦となった。

優勝した第3部の梶井克也部長は「今大会へ向けて週五日練習し、その成果を出せた」と、笑顔で喜びを語っていた。



倉掛婦人会が倉掛公民館へ机3台を寄贈した。

昨年4月にオープンした同公民館の机・椅子・ロッカーなどの備品は予算の都合ですべて中古品。一部は傷み

机を寄贈 倉掛婦人会

が進んでいることから支部役員で話し合い取り決めたもの。

自治連合会の長尾謙治総務広報部長は「有り難いことです。大切に使用させていただきます」と話している。

五人は8ホールに分かれて同時スタートし、腕前を競った。しかし境内には障害物が多く、せつかくの腕前も時に台無し。男性の一人は「石灯籠にボールが当たって跳ね返り、スコアを崩

した。このコース攻略は難しい」となどと苦笑しながらプレーを楽しんだ。結果、少年団の部は二つのホールインワンを出した四年浅井智成君が優勝を飾った。

《第3部出場選手》

| | |
|-------|-------|
| 一班指揮者 | 三宅 一正 |
| 1番員 | 竹内 誠 |
| 2番員 | 笠原 慶一 |
| 3番員 | 長尾 央司 |
| 二班指揮者 | 川相 謙治 |
| 1番員 | 西山 喬士 |
| 2番員 | 瀬川 隆治 |
| 3番員 | 笠原 慶一 |

倉掛ほっと情報

■倉掛婦人会は2月18日、次年度役員人事について話し合い、倉掛地区内の4ブロックから本部役員1人、支部役員5人(内3人は2度目)を決定した。本年度の支部役員は、必要に応じて次年度の活動に協力する。

■郷社足次山神社で2月5日、厄除け祈願祭が執り行われ、厄年に当たる氏子らが事故無く健やかに暮らせるようにと、大山秀憲宮司の御祓いを受けた。

■大正橋～井原大橋間の小田川に生えている雑木が市内の建設業者によって除去された。井原地区自治連合会協議会の要請や小田川出合いとふれあいの水辺づくり推進協議会の意見などに沿ったものとみられている。倉掛自治会も昨年3月、9組妹尾磯吉さんの環境美化に関する質問と提言を市へ伝え、前向きな回答を得ていた。

◆ 行事予定 ◆

- 2/26 全国健康マラソン井原大会 県ハーフマラソン選手権
- 3/ 5 倉掛少年団入退団式 & レクリエーション
- 3/ 5 消防団第3部試運転日
- 3/11 古紙・古着等回収 午前7時30分～9時
- 3/11 男女共同参画地域フォーラム in いばら ※13:30～メルヘンホール
- 3/11 倉掛自治会決算総会
- 3/12 井原市消防操法訓練大会
- 3/12 経ヶ丸山頂ファミリーマラソン
- 3/15 井原中学校卒業式
- 3/17 井原小学校卒業式
- 3/22 井原公民館運営審議会
- 3/24 井原中学校修了式
- 3/24 井原小学校修了式
- 4/ 2 郷社清掃 午前8時～
- 4/ 2 消防団第3部試運転日
- 4/ 4 郷社まつり

ご交誼に感謝

倉掛自治連合会 渡辺研一

た倉掛新聞につきましましては、内容の不備や金銭的負担をお掛けしているにもかかわらず、寛大に見守って頂き誠に有り難うございました。現役引退が近づくにつれて「新聞とホームページは今後どうなるのか」といったご意見もお聞きしておりますが、この件に関しては次年度の役員で検討されると思っております。行事等に追われ、倉掛公民館で文化祭を開けなかったのは少々心残りですが、取りあえずこれまでのご交誼に感謝致しますと共に、皆様のご多幸と地域の発展をお祈り申し上げます。

